

北見工業大学 「総合工学Ⅱ」

冬期の感染症避難所 対策はこれに決まり！

- 標茶町におけるコロナ禍での避難経験をもとに -

北見工業大学 3年 石井日菜(4班)



北見工業大学の「総合工学」



総合工学は、問題解決型科目であり、学生が自ら課題を発見しその課題を解決するアクティブラーニング科目である。

本科目では、オホーツク地域が抱える様々な問題の中から取り組む議題を決定する。そして、文献調査や現地調査を通じて見出した解決策は、報告書にまとめるとともに、公開発表会で披露し、意見交換を行う。

全19チームのうち、上位5チームのテーマは以下の通り

本日の発表

- ・冬期の感染症避難所対策はこれに決まり！-標茶町におけるコロナ禍での避難経験をもちに-
- ・北見工大生ができるボランティアサービス～緊急時におけるコミュニティ作り～
- ・オホーツク管内および北見市におけるごみ埋め立て問題
- ・サイクルシェアリングによる北見市の活性化
- ・ハッカde北見のハッカん作用～ハッカに秘められた力～

なぜこのテーマにしたか



総合工学Ⅰ (2年次)

テーマ：「冬の停電時、どう過ごす？」

⇒「厳冬期避難所展開・宿泊演習2020」

(主催：日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター、2020.1.25開催)

班員3名参加

総合工学Ⅱ (3年次)

新型コロナウイルス流行 NHKクローズアップ現代+ 『新型コロナ 災害避難をどうする』

(2020.5.23放送)を偶然視聴
↑感染症流行時の避難所のあり方を考える

冬期災害時避難+感染症対策

総合工学Ⅰの冬季避難体験 (2年次)



図1：避難してすぐの様子
(ブルーシート)



ブレイクアウトルームでも紹介

図2：避難してしばらく経ったときの様子
(段ボールベッド)



図3：一夜明けた体育館の気温
(11.5℃)



図4：夕食
・ご飯
・白菜サラダ
・けんちん汁
・揚げないとんかつ



図5：簡易トイレ



聞き取り調査 – 理想的な避難所とは



手がかり

- **コロナ禍での避難経験者**のお話
- **特に配慮が必要な人**たちの避難時の懸念点
- **冬期キャンプ経験者**のお話

アンケート・メール・電話・郵送

標茶町役場

標茶町
コロナ禍での避難を経験

- **標茶町立磯分内小学校**

- **夕陽ヶ丘認定こども園**
- **地域密着型特別養護老人ホーム むつみ**

北見市
私たちの地域での感染症対策

北見工大 館山,白川准教授

わかったこと（課題あり）



保育所
小学校
老人ホーム

特に感染症に耐性の低い子どもやお年寄りの集まる施設、**感染症対策への工夫あり**

標茶町の避難所でも、**できる限りの感染症対策あり**

役場

特に長期になった場合、**町の職員が足りない**

避難所収容人数が約半分になる

避難をためらう人がいる

冬期キャンプ
経験者

外での避難は体力のある若者などに限られそう

長期ほど**精神的につらくなってくる**

私たちの考える理想的な避難所



①まずは避難する

- 感染症流行下でも**避難を躊躇させない**呼びかけあり
- **子どもやお年寄りを優先**して避難が行われる
- **全員が避難できる数、種類**の避難場所が用意されている

②感染症対策を精一杯行う

- 避難所には**非接触型の体温計や間仕切り**が準備されている
- 手洗いなど**個人でできる感染症対策**を教えてくれる、**実行する**
- 子供から大人まで誰にでも分かりやすい**説明書き**

③長期的な避難を見据えて

- 長期避難に備えて避難所に**嗜好品**が準備されている
- 何よりも...避難所に居る人達が**協力**して避難所を運営している

地域PBL発表交流会
2020年10月18日

えんがわ

北見工大生ができる ボランティアサービス ～緊急時における コミュニティづくり～



北見工業大学 工学部
地球環境工学科 環境防災工学コース 3年 ○館石 真・工藤貴大・松田まりの
地域未来デザイン工学科 社会インフ工学コース 3年 稲木万玲・高橋李帆
(環境防災総合工学/オホーツク未来デザイン総合工学 11班)

メンバーと役割



稲木万玲（リーダー）：Web制作・質疑応答



高橋李帆：ポスターデザイン・制作



館石 真：発表・プレゼン資料作成



工藤貴大：週報管理・プレゼン資料作成



松田まりの：ポスター制作・音声録音

※左図はZEPETOで制作させていただきました

背景と目的

胆振東部地震 ➡ 地域における**ボランティア**の必要性

特に**災害時**には？

住民同士の**つながり**が必要

災害時に住民同士が安全確認を取り合うような
コミュニティを作る

活動内容

北見市において災害時に頼れる**コミュニティ**を作りたい

北見工大図書館で気軽に集まれる場を作る

← 新型コロナウイルス問題発生

WEB上でコミュニティを作る

(外出自粛中にも頼れる**コミュニティ**を!!)

“engawa”立ち上げ

○縁側のような気軽に訪れるような関係を目指し“engawa”というWebサイトを制作

○コミュニケーション、災害対策の現状を知るためのアンケート調査を行う

○災害時以外にも活動に参加し
やすいように情報の共有を行う

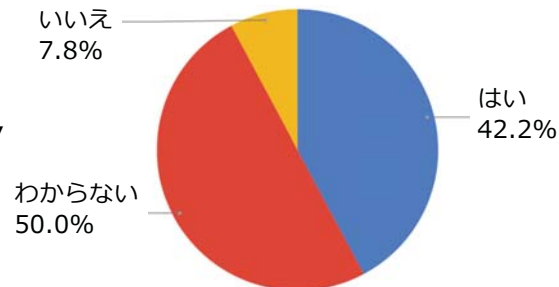


住まいの周辺環境調査

▶ Googleフォームを利用し、口コミで協力を依頼

▶ 住まいの周辺環境調査のためにアンケートを行い、64名からのご協力をいただいた。

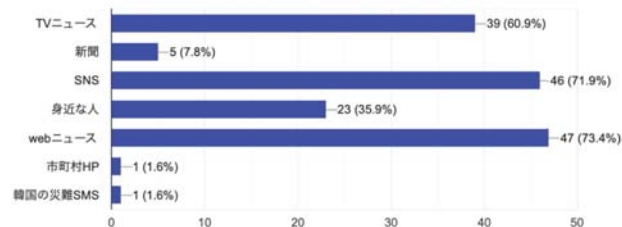
「近所に高齢者だけで暮らしている人がいる」



調査結果

世の中の状況（コロナの感染状況）などの情報はどこから入手しているか

64件の回答



この他「市の防災訓練に参加したことがあるか」などの調査も実施
詳細は“engawa”に掲載

まとめ

ボランティアハブとなるウェブサイトの作成
“engawa”

- ・地域住民同士の交流
- ・お役立ち情報の共有

アンケートで身近な高齢者について触れることで、
アンケート回答者が身近な高齢者について多少意識することになった
→ 災害が起こった際は自助、公助、共助、近所(助)